

～大阪ミュージアム構想～

大阪ミュージアム構想 ～イベントミックスの推進～

【概要】

イベントを共通のテーマ性や季節性から編集して、魅力の発信力強化を図り、観光集客につなげる。
 イベントを連携させることにより集客力と回遊性の向上を図り、地域の活性化につなげる。
 イベントを組み合わせることで府民の参加や連携を促し、関心や意識の高揚、連帯感の醸成につなげる。

【取組状況】

- テーマや季節・エリアなどで広域的に魅力をつなぎ・発信
- 京街道ジャズライン（京阪電鉄及び沿線市連携イベントの展開）（H21年度～から 毎年9月～12月実施）
- 石畳と淡い街灯のまちづくり6地区を巡るフォトコンテスト「ぶらっとおおさかフォトコンテスト」（H24年度実施）
- 竹内街道・横大路（大道）1400年関連イベントの展開及び情報発信（H25.3月～11月実施）
- 大阪が育んだ割烹をテーマに大阪の食文化のイメージアップを図る「大阪割烹体験」（H26年1月～毎年2回開催）
- 民間によるバスツアー「ええとこ見つけた！大阪魅力再発見の旅」（H26年3月～5月実施）
- 地域と民間協働による「桜のまちあるき 桜とグルメの大阪巡り」（H26年～ 毎年春に実施）



- 回遊性向上
- 府内各地のイルミネーションを対象とするイルミネーションフォトコンテスト（H24年度～ 民間の協力を得て実施）
- スマートフォンに対応した電子スタンプラリーの実施（H24年度～）
- 府民参加促進
- 府内各地のグルメや土産物を販売・PRを行う「ええもん・うまいもんin万博公園駅」（H24.11.18実施）
- 四季のテーマを設定して公募する大阪ミュージアムフォトコンテスト（H25年度～ 民間の協力を得て実施）



【これまでの成果】

- 四季のテーマ毎にイベントを編集して情報発信することで、ホームページのアクセス件数が増加。
- 公民協働の取組みや、広域的な地域連携・協力による取組も広がっている。

【課題】

- これまで培ってきた市町村や民間との連携の継続、拡充
- 効果的な情報発信手法への重点化

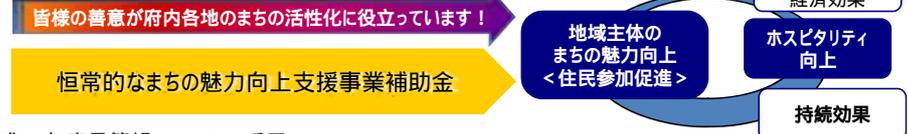
【今後の方向性】

- 大阪ミュージアムの登録物を「つなぎ、お互いに活用する」コーディネート機能を強化し、府域全体の情報発信力の強化

大阪ミュージアム構想 ～地域が主体となった魅力づくりの推進～

【概要】

広域的な観点に立ったまちの魅力づくりを推進するとともに、地域が主体となって取り組む恒常的なまちの魅力向上及び景観形成並びにまちの魅力発信を支援する補助事業、大阪ミュージアム基金を活用。



平成27年度予算額：15,000千円
 補助対象事業：歴史的な街道や複数の市町村にまたがる広域的なエリア、又は一つの市町村内であっても寺内町や歴史的建造物群、広大な棚田など内外に誇れる地区や地域のシンボルとなるような特定エリアにおいて、地域が主体となって実施する、1～3全てに該当する事業。

- 大阪ミュージアム登録物を活用し、又は今後登録されるものを活用すると見込まれる事業
- 次の(1)又は(2)に該当する事業
 - (1) 恒常的なまちの魅力向上・景観形成事業
 - (2) まちの魅力発信・集客事業..新たに又は既存事業から大幅な見直しを行い、特定の期日又は期間を限定して実施する取組で、複数年にわたって継続的に実施し、集客効果が期待できるいずれかの事業。

(ア)ツーリズム推進、(イ)水と光の魅力づくり推進、(ウ)食を通じた魅力づくり推進
 補助額：(1) 補助対象事業費の2/3以内、補助上限額 3,000千円
 (2) 補助対象事業費の1/2以内、補助上限額 1,500千円

【取組状況】

- まちの魅力づくり支援事業として実施 採択数：10団体（H24年度）
- 恒常的なまちの魅力向上支援事業として実施 採択数：12団体（H25年度、H26年度）、応募件数：7団体（H27年度）

【これまでの成果】

- 支援した取組については、その後も継続的に実施されており、まちの魅力向上だけでなく、地域の集客促進の点でも効果を上げている。
- <取組み例>



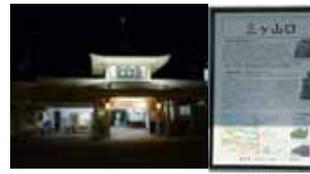
竹内街道・駒ヶ谷地区 歴史景観保全事業
 実施主体：羽曳野市駒ヶ谷区町会



花折街道沿道の魅力向上事業
 実施主体：豊能町吉川自治会



門真象鼻杯と運根料理レシピコンテスト
 実施主体：飲食店元気塾



奥貝塚・水間まち並みづくり事業
 実施主体：奥貝塚・水間まち並みづくり協議会



でかっ！羊イルミネーション大作戦
 実施主体：いずみおまつ元気会



大東市スマイルミネーションイベント
 実施主体：大東市イルミネーションイベント実行委員会

【課題】

- より広域性が高く、回遊性の向上につながる取組み

【今後の方向性】

- 地域の魅力を高め、府域への回遊性、集客性を向上する取組みの検討

～大阪ミュージアム構想～

大阪ミュージアム構想 ～府民参加による情報発信の促進～

【概要】 府内各地の魅力発信に当たり、府民参加を促進する取組みを進める。

CMコンテスト：大阪にちなんだオリジナルCMを募集・表彰し活用することを通じて、大阪の魅力を内外にPR。
 モバイルガイドシステムの活用促進：スマートフォン等のモバイル機器で、大阪ミュージアムの登録物をはじめとする府内各地の魅力スポットの写真と紹介文を閲覧できるシステム。GPS情報と連動した、利用者の現在地周辺の魅力スポットの表示機能やスタンプラリー機能等も備えており、無料のアプリケーションソフト「ふらっと案内」をダウンロードすることで利用可能となる。

【取組状況】

<OSAKA LOVERS CM コンテスト>

- CMコンテスト...平成23～25年度の3年間、大阪府主催で実施。
- 平成23年度：学生の部・一般の部・外国人の部・ダンスの部の4部門 / 応募総数106作品 / 入賞20作品
- 平成24年度：学生の部・一般の部の2部門 / 応募総数64作品 / 入賞20作品
- 平成25年度：世界ヘアビル部門・ご当地自慢部門の2部門 / 応募総数67作品 / 入賞20作品 貝塚市協賛
- 平成26年度：(株)ケイ・オプティコムがスポンサーとして資金提供。官民連携による実行委員会が主催。
 ・私の大好きな大阪部門・ケイ・オプティコム部門の2部門 / 応募総数40作品 / 入賞14作品
- 平成27年度：(株)ケイ・オプティコムがスポンサーとして資金提供。官民連携による実行委員会が主催。
 ・テーマ：「ええやん！大阪」～みんなに伝えたい大阪の魅力（募集中）



2011(H23)



2012(H24)



2013(H25)



2014(H26)



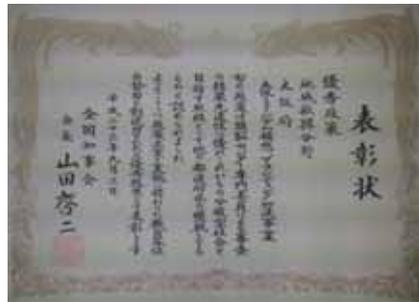
2015(H27)

【これまでの成果】

- CMコンテストについては、平成23年度に、全国知事会の先進政策として優秀賞を受賞。全国各地にご当地CMコンテストが広がるきっかけとなった。
- CMコンテスト大賞受賞作品等については、関西コレクションやドイツ・ハンブルグ日本映画祭から作品提供依頼を受け、会場での放映。
- CMコンテストについては、平成26年度からは、民間資金による公民連携での事業運営を行うことができた。

全国知事会 優秀政策 表彰状

関西コレクション会場（京セラドーム）にて放映（H24～）



【課題】

- CMコンテスト
- 入賞作品の放映機会の拡充

【今後の方向性】

- CMコンテスト
- 入賞作品のより効果的な発信・活用

<大阪ミュージアムモバイルガイドシステム>

- モバイルガイドシステム...平成23年12月14日から運用開始。
- 四季のテーマ毎の府内各地のイベント情報を取りまとめ、ホームページ等と併せてモバイルガイドシステムでも発信。
- 平成24年度より、秋の府内イベント情報発信と併せ、モバイルガイドシステムを活用した電子スタンプラリーを実施。

【システムの概要】

スマートフォン片手に大阪府内のまち歩きを楽しもう！
大阪ミュージアムモバイルガイド
 無償のアプリケーションソフト「ふらっと案内」をダウンロードしてご利用ください

<利用方法> 大阪のまち全体が手の中に！

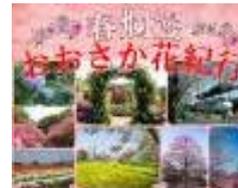
- 1 新しい発見が！**
観光スポットや旬のイベント情報をその場で簡単にゲット。
- 2 道案内に最適！**
貴方の現在地と行きたいスポットまでの距離や行き方を地図情報に表示。
- 3 貴方のおすすめ情報もロコミ！**
駅で見つけた新たなスポットやおすすめ情報をロコミ投稿！

大阪ミュージアムモバイルガイドシステムは、スマートフォン等のモバイル機器に府内各地の観光・魅力スポットを写真とコメントで表示するシステム。
 アプリケーションソフト「ふらっと案内」と連携することで、GPS機能と連動し、利用者の現在地とその周辺の魅力スポット情報が表示される。一般の方が、写真やコメントを投稿できる機能も搭載。
 （システムを活用してできること）
 ・まち歩きコースの設定・表示
 ・電子スタンプラリー
 ・クーポン機能
 ・多言語表示（日・英・中（繁体字・簡体字）・韓）

府内全市町村にID / パスワードを配布。自由に情報発信媒体として活用が可能。

【これまでの成果】

- モバイルガイドシステムについては、スマートフォン等を活用して、いつでも誰でも、滞在地近くの府内の魅力スポットやイベントを気軽に訪れることができる環境を整備した。
- モバイルガイドについては府内市町村にID / パスワードを発行し、独自の情報発信媒体として活用が図られている。



【課題】

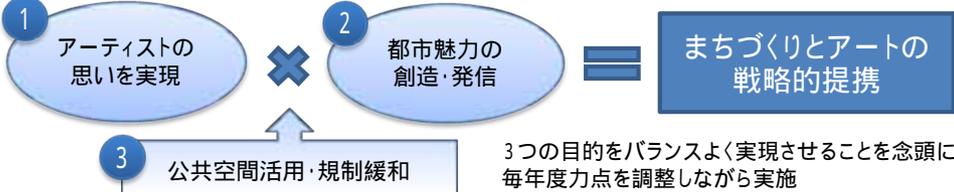
- モバイルガイドシステム
- 利用者拡大に向けた取組み

【今後の方向性】

- モバイルガイドシステム
- 利用PRの強化
- 市町村等と連携したコンテンツの新規作成

～ おおさかカンヴァス推進事業 ～

おおさかカンヴァス推進事業の目的



アートカウンシルの評価・提言

- 限られた予算で工夫が凝らされた事業
 - 海外客など幅広い層が来場
 - 事業内容がツイッターなどSNSと相性が良く様々な発展性に期待
 - 都市開発や環境など他事業と連携、民間のサポートも呼び込みたい。
- 【提言内容】
- 単年度予算、単年度事業に縛られない設計で内容の充実を
 - 応募作品すべてのプランや作品完成までのプロセスを公開、府民の共感を高める。

これまでの経過 (H22～26)

平成22年度 ～創成期として～

高いクオリティの作品展示
これまでにない公共空間の活用

- 23作品 作品あたりの平均支援額140万円
- 場所を限定せず府域全体を活用して展示



平成23年度 ～発展期として～

作品数増や多様化で裾野拡大
集中展示やメッセージ性の強化

- 43作品 1作品あたりの平均支援額65万円
- 多くの作家の想いを実現させるため、作品数を拡大して公募（作品規模は縮小）
- 3箇所程度の集中展示エリアを設定



平成24年度 ～完成を目指して～

都市魅力の創造・発信の強化
公共空間の更なる活用とアーティスト集積
（大阪市との連携強化）

- 10作品 + 過去作品1作品の計11作品展示
- 1作品あたりの平均支援額90万円
- クオリティを確保し、作品を1箇所に集中
- 水都大阪フェス等他事業との連携強化



平成25年度 ～まちづくりとの連携～

まちづくり事業に先駆けて公共空間活用
初めて場所とテーマを設定して公募

- 3作品 1作品あたりの平均支援額260万円
- 支援上限額を500万円に増額
- 都市魅力や可能性を引き出すテーマ設定



平成26年度 ～企業等との連携～

道路機能を維持したまま空間活用に挑戦
シンボルイヤーへの基盤づくり

- 6作品 1作品あたりの平均支援額66万円
- 異なる立場の関係者と連携・協力し、社会実験として作品展示



事業目的に対応する成果

全国知事会による第7回先進政策大賞受賞

都市魅力の創造・発信

アーティストに魅力ある発表の場を提供

- 過去5年で750件にのぼる応募があり、審査を経て採択された86作品を制作展示。（採択率11%程度）
- 多数のメディア掲載（新聞66回、テレビ21回、関西ウォーカーほか情報誌、ウェブサイト等）
- 都市部の公共空間の活用（同規模のものは他に事例なし）
- 施設管理者等と協議を繰り返し、前例のない形で公共空間を活用。規制緩和。
- H25年度から、カンヴァス事業で蓄積したノウハウを基に、府域市町村の自主的な取組みを技術面で支援（わがまちカンヴァス事業：H25年度3件、H26年度4件）
- 新しいまちづくりの動きと連携しエリアのイメージアップに貢献
 - H25「中之島GATE」 H26「御堂筋」

平成27年度 事業概要

- 中之島・道頓堀及び水の回廊を舞台に、シンボルイヤー関連事業等と連携しながら、「水都大阪」の魅力を広く発信する、斬新なアート作品を展開
- 支援上限額を500万円に増額
- 海外を含む幅広い地域から計113件の応募あり。
- 審査を経て選定された7作品と、大阪芸術大学との連携企画として1作品を展示発表

【開催場所】

中之島エリア 水の回廊
道頓堀

【開催日】

平成27年10月3日（土）～10月12日（月・祝）
平成27年10月3日（土）・4日（日）・16日（金）・17日（土）



【課題】

- 文化振興基金残高が減少していることを踏まえ、基金を取り崩すだけでなく、関連する施策との連携、企業や芸術系大学からの協賛を獲得するなど、実施経費の確保方を検討

【今後の方向性】

- 大阪市域外での事業展開を視野に入れ、府域全体のまちの魅力づくりに資する。
- カンヴァスで蓄積した公共空間活用のノウハウや、立場の異なる関係者の意見調整等のノウハウを基に、府域市町村の課題解決を支援する「わがまちカンヴァス事業」の推進